

【地方公共団体の名称】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICTを安全に活用できる能力をはぐくむための情報活用能力の育成やICTリテラシー教育を推進するとともに、新たなICT基盤を効果的に活用し、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」等を実現するため、「教育デジタル・トランスフォーメーション（教育DX）」を積極的に推進します。

これまでの教育ICT推進の取組みを踏まえ、目指すべき姿および施策を整理しています。

目指す姿	施策
学習・生活ノート（児童・生徒利用機能）等で学校生活や学習結果を振り返ることで、自らの課題と向き合い、考える力が向上している。	<ul style="list-style-type: none"><li>・新たなデジタル教材、クラウドサービスの導入による協働的な学びの促進。</li><li>・児童・生徒の情報活用能力の育成。</li><li>・生成AIの適切な教育利用の促進。</li></ul>
利用者IDの統合によりデジタル教材の利便性が高まり、学習効率や学習効果が向上している。	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境統合による利便性の向上。</li><li>・シングルサインオンの利用拡大。</li><li>・教育データ利活用の促進による個別最適な学びの提供。</li><li>・児童・生徒や保護者とのコミュニケーションの改善。</li></ul>

2. GIGA第1期の総括

区では全区立小・中学校の児童・生徒1人1台のタブレット型情報端末（約50,000台）（以下、「GIGA端末」という。）の配備、指導に携わる教員用に同端末約3,000台の配備を実施しました。

加えて、全小・中学校毎に高速通信可能なネットワークを導入。校内高速ネットワーク環境の整備など、教育ICT環境の大幅な整備・拡充を実施しました。その結果、全児童・生徒、教員がスムーズに教育ICT環境を活用することが可能になりました。

今後、子どもたちが社会において適正なICT利活用を行っていくための基礎となる情報モラルや必要な知識を習得させるための情報リテラシー教育の充実等を図る必要があります。

区では、様々な推進を通して、新たな時代に対応した情報活用能力の育成や情報リテラシー教育等をより一層充実していきます。

3. 1人1台端末の利活用方策

「個別最適な学び」及び「協働的な学び」等を実現するため、「教育デジタル・トランスフォーメーション（教育DX）」を積極的に推進する必要があります。

AIドリル学習アプリの活用推進等を通して、学習状況に合わせた教材の提供が可能となり、個別最適な学びを有効に促進します。

また、子ども一人ひとりが自ら考え、主体的に学び、創造力を養う環境を整備するとともに、ICTを活用した教育の推進に向けた新たな取組みを推進していきます。

GIGA端末の授業活用についても、アイデアや利活用に関する意見、疑問点等を教員同士で共有し、様々な課題の解決を図ることで、GIGA端末を利用した授業力向上を推進するとともに、教員同士によるコミ

ユニケーションの成熟を図り、スキルアップ等を促進します。

本計画は「世田谷区教育の情報化推進計画（令和6年度～令和10年度）」を基に作成しております。